

Q. 具体的に前線や低気圧がどの位置にあると危ないのか

A. 特に注意が必要なのは、前線が対馬海峡や九州北岸に停滞している場合です。福岡県は前線の南側にあたり、暖かく湿った空気が流れ込みやすくなるため雨雲が発達し、次々と流れ込むことで大雨による災害の危険度が高まります。前線上の低気圧が対馬海峡付近を東へ進む場合も同様です。

なお、令和7年8月7日から12日の大雨や、過去に九州、福岡県で発生した大雨の事例でも、前線は対馬海峡から九州北岸に停滞していました。

※気象庁HPに記載がありますので、ご参照ください。

■気象庁HP 「大雨特別警報を発表した事例等における雨量等の予測と実際の状況等について」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jirei/index.html#c>

Q. 自分の地域では今まで大きな災害を経験しておらず、防災訓練への参加者が少ないがどうすればよいか

A. 訓練方法を工夫して楽しいイベント化、美味しい和菓子、親子参加への特典、などまずはつながりやすいようにする方法があります。

Q. マンション住人の顔が見えず、非協力的である場合の解決策はあるか

A. 日常は非協力的であっても、災害時には手伝ってくれる人も多いと感じます。活動の情報を伝えたうえで、「災害時には、できる範囲の協力を願います」と刷り込む方法があります。